

本館所蔵雑誌の貸出についてのアンケート調査結果

1. 経緯

雑誌貸出については、医学図書館が短期（1泊2日）で行っているほか、近隣の大学図書館においても雑誌の種類や条件は異なるものの実施されているケースがあり、本館でもこれまで複数の貸出の要望が寄せられていた。

貸出実施は、館外での閲覧・コピーが可能になる点において便利ではあるが、来館時に読みたい雑誌が貸出中で利用できなくなる可能性があり、また、汚破損等のリスクも高まるため、総合的な判断が必要となる。本学構成員のニーズを広く知る必要があることから、アンケート調査（平成31（2019）年1月31日の運営会議において協力依頼）を実施した。

2. アンケート結果の概要：平成31（2019）年1月17日（木）～2月28日（木）

回答者数は82名で、うち7割強（61名）が教員であった。次の通り、一般雑誌よりも学術雑誌の貸出を希望する人のほうが多かった。学術雑誌については賛成派と反対（不要）派ではほぼ拮抗していた。

一般雑誌の貸出	希望 28名（34%）	不要 54名（66%）
学術雑誌の貸出	希望 43名（52%）	不要 39名（48%）

また、自由記述をみると、最新号などを除いて貸出を希望する意見が一定数ある一方で、館内の閲覧や複写で足りるなどの理由で反対する教員の意見も目立つ結果となっている。

<貸出に賛成または賛成寄りの意見>

- ・最新号は除いて貸出実施してほしい
- ・発行から一定期間（月刊誌なら半年～1年）を経た雑誌については貸出してほしい
- ・研究室でコピーをしたいので、当日のみで貸出してはどうか
- ・個人的に貸し出しは希望するが、紛失や返却しない等のトラブルの懸念がある

<貸出に反対または反対寄りの意見>

- ・雑誌は部分利用が多く館内でのコピー機による複写で足りる
- ・（学術）雑誌は、図書館に行けばいつでも利用できる環境が望ましい
- ・学術雑誌については、急に利用が必要となる事態も多いので閲覧できないのは困る
- ・汚破損や紛失のリスクが高まる運用は望ましくない

※アンケート結果の詳細は、次ページ以降を参照

【回答詳細】

1. 回答者区分

教員	61
職員	9
学生	9
対象無 ※記入ミスと思われる	3

2. 一般雑誌（文藝春秋、エコノミスト、月刊バスケットボール、暮しの手帖など、主に入館ゲート横の新聞・雑誌コーナーに置いているような雑誌）の貸出を希望しますか？

希望する	28
内訳（教員 16 職員 5 学生 6 対象無 1）	
希望しない	54
内訳（教員 45 職員 4 学生 3 対象無 2）	

3. 【2で「希望する」と答えた方】 適切だと思う貸出期間について教えてください

当日	0
翌日（1泊2日）	5
3日	9
7日	10
14日（図書と同じ）	4

4. 【2で「希望する」と答えた方】 貸出を希望する発行年代について教えてください

発行が新しいもの（過去2～3年ぐらいまで）	10
発行が古いもの（製本雑誌含む）	2
発行が新しいものも古いものも両方	16

5. 学術雑誌（ジュリスト、歴史地理学、月刊福祉、地盤工学会誌など主に1階研究ゾーンの学術雑誌コーナーに置いているような雑誌や、大学の研究紀要）の貸出を希望しますか？

希望する	43
内訳（教員 29 職員 3 学生 8 対象無 3）	
希望しない	39
内訳（教員 32 職員 6 学生 1 対象無 0）	

6. 【5で「希望する」と答えた方】 適切だと思う貸出期間について教えてください

当日	2
----	---

翌日（1泊2日）	7
3日	14
7日	12
14日（図書と同じ）	7
無回答	1

7. 【5で「希望する」と答えた方】 貸出を希望する発行年代について教えてください

発行が新しいもの（過去2～3年ぐらいまで）	6
発行が古いもの（製本雑誌含む）	2
発行が新しいものも古いものも両方	35

8. 雑誌の貸出を実施する場合、対象者の範囲について、適切だと思うものを選択ください

松江キャンパスの教職員及び学生	21
出雲キャンパスを含む島根大学の教職員及び学生	41
学外の方も含む全ての利用者	5
雑誌の貸出は必要ない	15

9. 自由記述欄

貸出に賛成または賛成寄りの意見

1	最新のものを除くバックナンバーのみ貸出が良い。最新号は次号が出版されるまで館内閲覧のみで良いのでは。	学生・生資
2	個人的には貸出を希望するような雑誌はありませんが、学術雑誌については紙以外の方法で複写したい方もいると思いますので、保存状態のよい比較的新しい雑誌で短期間かつ身元の確かな方が貸出対象であれば、よろしいのではないかと考えます。	職員
3	発行から一定期間（月刊誌だったら6ヶ月～1年）を経た雑誌を貸出していただけるのなら、うれしく思います。「別冊太陽」，「芸術新潮」など美術・芸術系の雑誌を特に希望します。	教員・総理
4	雑誌の最新刊については読みたい人も多いただろうから、原則貸し出し不可能にして、いつも館内にある状態が良いと思う。ただ、バックナンバーについては古かろうが新しかろうが貸し出し可能にしてほしい。	学生・生資
5	ご検討いただきありがとうございます。特に学術雑誌に関しては貸出が実現することを強く希望いたします。	教員・法文
6	新しい雑誌（発刊～半年とか）は貸出期間を短めに、古いもの（1年以上経過しているもの）は2～4週間と分けたらいいと思います。	教員・医
7	昨年、芸術新潮など良く拝見させて頂いていた雑誌の購入が沢山なくなり、個人的にさみしく思う。予算面で仕方がないとは思いますが、”島根大	教員・医

	学”として1冊だけ購入する、あるいは島根地域の図書ネットワークと連携し、大学として島根県の図書館の雑誌を借りることができたり、市民が大学の専門書を借りることが出来たりなどの相互協力ができるの良いかと思う。	
8	研究室で雑誌をコピーできればと思ったことがあり、当日のみで貸し出しをしてはどうかと思いました。当日ならコピーが済めば返却でき、紛失なども最小限に抑えられるのではないかと思います。	教員・生源
9	最新号は除くべき。	教員・その他
10	学術雑誌については、現在のところは希望しませんが、今後については不明です。	教員・その他
11	学術雑誌コーナーの雑誌は、一般雑誌と違って図書館で読んですぐに理解できるようなものはほとんどないため、図書と同様に貸出可とするのが妥当であると考えます。	教員・総理
12	雑誌貸し出しは、個人的には希望したいのですが、紛失・返却しない、等のトラブルが考えられるため、難しいだろうという気はします。学術雑誌は、貸し出しして頂けるととても嬉しいです。	教員・教育
13	一般雑誌や学術雑誌の貸し出しを希望される方には、貸し出しを実施されるとよいと思います。	教員・総理
14	雑誌の貸し出しは管理が大変でしょうが、是非実施していただきたいと思います。学生の卒論指導ではどうしてもネット上の文献のみを使用しがちなので、様々な分野への興味関心を高めるためにも必要だと思います。	教員・教育

貸出に反対または反対寄りの意見

15	学術雑誌が貸し出されてしまうと、レポートや卒業論文の執筆に不利益が生じる恐れがある。研究分野によっては、電子化されていない論文も多いため、図書館で常時閲覧できるような体制の方が望ましい。一般雑誌については、利用が集中しそうな期間（次の号が発売されるまで）は貸出はしない方がよいのではないかと。貸出する場合も短期の方が望ましいように思う。	教員・法文
16	法文学部内で購入していた、学生研究室用の雑誌（禁帯出）が盗難に遭った経験から、今回のアンケートにおいては、雑誌の貸し出しに反対させていただきました。 利便性向上を目的としている、とのことですが、どの程度の要望があったのでしょうか。もし、要望が特になく、「こうした方が便利なのでは？」ということが、図書館の中から出てきたのであれば、まず「図書館で雑誌の貸し出しが行われた場合、自分は便利だと感じるかどうか」を検討し、	教員・法文

	<p>便利だと感じる職員が大多数を占めたのでしょうか。また、例として挙げられている雑誌名を見ると、借りて持ち帰り、じっくりと読み、返却するというよりは、必要な部分を複写しやすくした方が、利便性の面からは検討すべきことのような気がします。サービスという面からは、図書館というのは水道のようなもので、蛇口を捻れば水が出る以上のことは求められていないと思います。本が置いてあり、その場で読むことができる。複写ができる、簡便な手続で一定期間貸し出しが可能である。無論、貸し出しの範囲について、雑誌をどうするかというアンケートではありますが、サービスとしては過剰ではないでしょうか。参考情報で書かれているように、費用対効果の面からも、何のために検討しているのか、よくわかりません。図書館は社会的インフラと呼ばれるものの一つです。社会的インフラには、「現状を維持することが正解である」部分が、一定程度あります。何かできることがあるのでは、やることを増やした方がいいのでは、という漠然とした感覚で検討されていないことを期待します。</p>	
17	夜中によみたくなったときに困りますが、いかがでしょうか。	教員・医
18	一般雑誌の貸し出しは差し支えないと考えるが、発刊直後のものは閲覧希望者が多数になると思うので、公平性確保の観点から控えるべきと考える。学術雑誌については、急に利用が必要となる事態も多いので、貸し出しにより蔵書しているにもかかわらず閲覧できないのは大変困る。	教員・法文
19	特に学術雑誌は、そこにあることが重要なので、汚破損や紛失のリスクは少ない方がよい。	教員・総理
20	図書館の雑誌は、見たいと思ったときにいつでもそこにある、というのがよいと考えている。だから貸出は実施しなくてよいと個人的には思う。しかしもし雑誌の貸出を実施する場合には、貸出期間は短期（1泊2日）にしたほうがよいと思う。	教員・総理
21	学術雑誌は全国の図書館とつながっていて、必要なユーザーのリクエストの応じて素早くコピーを渡せるような状況を常時保ってほしいと思います。この理由により、学術雑誌の貸し出しは解禁してほしくありません。解禁される場合はとてもがっかりします。	教員・生資
22	1) 雑誌貸し出しの必要はないと考える。雑誌利用の場合、雑誌全冊が必要なのではなく、掲載論文の閲覧が必要なケースが大半であろう。であれば、館内のコピー機でコピーをとれば十分に事足りる。2) 教員はともかく、学生の閲覧図書延滞など、借り出しのマナーには問題のある者が多いと思う。そういう意味でも、下手に紛失を増やすことに繋がることのないよう、貸し出しは行う必要はなかろう。	教員・法文